

# 『今昔物語集』の

# 説話を讀み解く

講師 田中宗博 (大阪府立大学名誉教授)



奈良国立博物館蔵『泣不動縁起』より

詳細は裏面をご覧ください ▶

2022年

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、本講座は変更、中止となる可能性があります。

**5/10(火) - 7/12(火) 14:30~16:00 毎週火曜日・(全10回)**



申込フォーム

- 会場 : 大阪公立大学I-siteなんば2階 (大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル)
- 定員 : 50名(申込者多数の場合は抽選) ■ 対象者 : どなたでも ■ 受講料 : 7,000円(全10回分)
- 申込方法 : 大学Webサイト「申込フォーム」から申し込みいただくか、「往復はがき」で  
(1)氏名(フリガナ)、(2)年齢、(3)郵便番号・住所、(4)電話番号、(5)このちらしの入手先 をご記入の上、  
下記宛先へお申込みください。 ※受講の可否は開催日の5日前までに通知します。届かない場合は必ずお問合せください。
- 申込フォーム : 右記二次元コードまたは大学Webサイト からお申し込みください。
- 往復はがき宛先 ※返信用はがきは両面とも白紙でお送りください。  
〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 大阪府立大学 C5棟 社会連携課「今昔物語集」係
- 問合せ先 : 大阪府立大学 社会連携課 Tel 072-254-9942 Fax 072-254-6271

締切日  
4月21日(木)  
必着



大阪府立大学WEBサイト ▶

大阪府立大学公開講座

検索

\* 2022年4月1日以降は大阪公立大学Webサイトからもお申し込みいただくことができます。

2022年4月より大阪府立大学と大阪市立大学は統合し、「大阪公立大学」として公開講座を実施いたします。



大阪公立大学  
Osaka Metropolitan University

※お申込みの際の個人情報は、申込後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

## 講義概要

12世紀前半に成立したとされる『今昔物語集』は、全21巻（欠巻アリ）説話総数1000余という大部の著述であり、日本古典文学中最大かつ最高の説話集とも呼ばれます。芥川龍之介が小説の典拠にしたことでも知られますが、「羅生門」「鼻」「芋粥」「藪の中」等が扱うのは、『今昔』世界のほんの一端に過ぎません。天竺（インド）震旦（中国）本朝（日本）と当時における全世界を、説話で表現・把握しようとする作品世界には、実に多様で豊穡なものがあります。この講座では、毎回ひとつの説話を取り上げて読み解きながら、背後にある当代の思想・信仰・世界観についても知見を広めることを目指します。



講師：田中 宗博  
大阪府立大学名誉教授

## 講義スケジュール

第1回 5月10日(火)	<b>芥川と『今昔物語集』 — 「藪の中」そして黒沢映画「羅生門」 —</b> 近代の知性芥川龍之介が、『今昔物語集』にどう惹かれたか、その小説と『今昔』の世界とはどう違うのかを考えます。
第2回 5月17日(火)	<b>天竺部の説話より(1) — お釈迦様がどう描かれるのか —</b> 『今昔物語集』は、日本語で書かれた最初の仏伝（釈尊の伝記）とも言えます。『今昔』の描き出す、人間的な魅力あふれる釈尊像について考えます。
第3回 5月24日(火)	<b>天竺部の説話より(2) — 月に兎がいるわけ —</b> 『今昔物語集』天竺部動物関連説話のうち、自らの身体を火に投じた兎の話を探り上げ、お釈迦様の前世の物語（ジャータカ）や民間伝承について考えます。
第4回 5月31日(火)	<b>震旦部の説話より — 鳥の卵を食した少年の悪報譚 —</b> 常に鳥の卵を奪って食した少年が、生きながら脚を焼かれる悪報を受ける話が『今昔物語集』には2例あります。日中双方に及ぶ2話を紹介し、説話伝播と定着について考えます。
第5回 6月7日(火)	<b>本朝仏法部の説話より(1) — 日本の仏教は聖徳太子に始まる —</b> 本朝部を、日本における仏法の始発で語ろうとする『今昔物語集』は、聖徳太子を巻頭に据えています。太子信仰に繋がる説話を読み、当代の仏法史観念についても考えます。
第6回 6月14日(火)	<b>本朝仏法部の説話より(2) — 悪人源太夫は西を目指す —</b> 『今昔物語集』は、時にまったく無名の人物を主人公に据えます。讃岐国の悪党のボス源太夫の、劇的な発心と往生を伝える話を読み、当代民衆と仏法の関わりを考えます。
第7回 6月21日(火)	<b>本朝仏法部の説話より(3) — 都大路のナンパと狐の救済 —</b> それと知らずに狐の化けた女と通じた男は、狐の遺言に従い法華経供養をします。大乘仏教経典『法華経』の力を語る説話を通して、説法唱導について考えます。
第8回 6月28日(火)	<b>本朝世俗部の説話より(1) — 安倍晴明スーパースター —</b> 平安期陰陽師として名高い安倍晴明の説話を読み、地味な公務員だった彼が、いかにして超人的能力者として伝承されるに至ったかを、説話を通して考えます。
第9回 7月5日(火)	<b>本朝世俗部の説話より(2) — 〈他者〉としての武士 —</b> 平安貴族社会において、武士は薄気味悪い〈他者〉として認識されたようです。『今昔物語集』所載武士説話を通して、人々の武士観念のあり方を考えます。
第10回 7月12日(火)	<b>本朝世俗部の説話より(3) — 今昔最終話は神話的世界の終焉を告げる —</b> 『今昔物語集』大尾は、近江国にあった超自然的な巨大樹が伐り倒されたたと語ります。この神話的な伝承について、その解釈をはかると共に『今昔』結尾の意味を考えます。